

医療的ケアを必要とする方や重症心身障がい児(者) とその家族のための災害の備えを啓発する取組みについて

(1) 背景・目的

令和5年9月、令和6年3月に啓発冊子「医療的ケア児等の災害への備え」を2種作成し、市内の医療的ケア児等を中心に発信しており、令和6年度も引き続き広く周知を行う予定。

啓発冊子と合わせ、さらなる自助の意識向上を図るため、災害への備えを実践的に取り組むことができる医療的ケア児等のための「ヘルプカード」や「災害ノート」の作成し、一体的な啓発を目指す。



(2) 医療的ケア児等版ヘルプカード

■ 名 称 (仮称)静岡市医療的ケア児等ヘルプカード

■ 目 的 医療的ケア児等の緊急時に、医師や支援者等

が即座に情報把握でき、必要な支援につなげる。

(3) 災害ノートと併用することで、本人の状態に合わせた対応を行うことができる。

■ 内 容 以下(案)のとおり

■ 周知方法 啓発ちらし「医療的ケア児等の災害への備え」に組合せ周知

表面



在宅酸素	有	無
吸引	有	無
気管切開	有	無
人工呼吸器	有	無
経管栄養	有	無
胃瘻	有	無
インスリン注射	有	無
その他の医療的ケア	有	無

かかりつけ 医療機関	名称 電話番号
通っている 職場や施設等	名称 電話番号
通っている 学校	名称 電話番号

裏面

ふりがな なまえ 名前				
せいねんがっぴ 生年月日	ねん 年	がつ 月	にち 日	けつえきがた 血液型 (RH+・RH-)
じゅくしょ 住所				
きんきゅう 緊急 れんらくさき 連絡先	なまえ 名前(続柄等) でんわばんごう 電話番号			

※ご自身が必要だと思う項目に記入をしてください

じょう 障がいや ひょうき 病気について	
の 飲んでいる薬	
アレルギー等	
あいじ 災害時の避難場所(家族や支援者と合流できる場所)	
名称	
じゅくしょ 住所	

ヘルプカードとは…?
援助を必要とする方が携帯し、
いざというときに必要な支援や配慮を周囲
の人にお願いするためのカード
※東京都が標準書式を作成しているため、
標準書式使用の申請を行う予定
静岡市では、防災面に力をいれたすべて
の障がいに対応した静岡市版ヘルプカード
を作成している。
本市既存のヘルプカードを活用し、
医療的ケア児等版を作成を目指す。



【私が配慮してほしいこと】

カードの持ち主が困っているときや緊急のときはカードの内側
を見てください。

(3) 災害ノート

■名 称 (仮称)静岡市医療的ケア児等とその家族のための災害ノート

■目 的 平時から支援者とともに作成・共有し、災害への備えの意識を高め、発災時にも活用できる実践的なツール

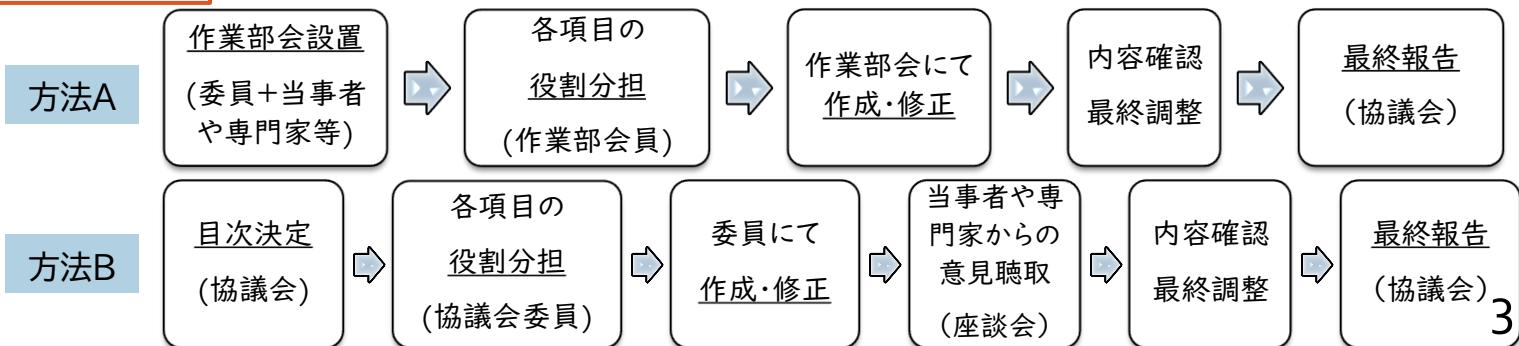
■内 容 ※イメージは参考2・参考3のとおり

目次

- 1 医療情報
- 2 医療的ケアの情報
- 3 1日のスケジュール
- 4 その他 伝えたいこと
- 5 関係者リスト
- 6 災害時に準備しておくもの
- 7 災害時の避難先
- 8 医療機器
- 9 平時から登録・携帯しておくと役立つもの
- 10 情報収集先一覧

ご意見をいただきたいです

■進 め 方



■参考(他市のノート) 各自治体HP参考

	内容・特徴等
つくば市	「医療的ケアを必要とする方と家族のための災害時対応ノート」 災害時に冷静な行動ができるように、日頃から行っている医療的ケアの内容や、災害が起こった際の避難の計画、医療機器の電源確保方法など、ひとりひとりの状況を記入するもの。
石川県	「災害時あんしんファイル」 日常的に医療的ケアが必要な子どもと家族が、停電や災害に備え、普段からの準備や災害時の対応手順、必要な医療処置の情報をまとめておくためのファイル
横浜市	「わたしの災害対応ファイル」 平時より、発災した際に必要な準備(家用機器等使用状況確認、避難方法及び避難場所の確認、医療機器の対策、薬等の必需品の備え、関係者リスト、緊急時の医療情報連絡票等)を、本人や支援者が使えるツール